



(住所) 檀原市木原町490
 (祭神) 大山祇神、高皇産靈神
 (交通) 近鉄耳成駅から徒歩約15分、近鉄大和八木駅から徒

歩約20分
 (拝観) 境内自由
 (駐車場) 耳成山公園駐車場利用。
 無料、35台

大和三山の中で最も低いながらも、美しい円すい形の姿を見せてくれるのが耳成山。近鉄大阪線の電車内からも間近に眺められます。

この山の山頂近くに鎮座しているのが耳成山口神社です。

南麓の鳥居をくぐる
と、右手に灯籠の並ぶや



耳成山口神社 (檀原市)

や険しい山道が続ぎ、5分ほど登ると、木々に覆

われた社殿が現れます。古くは山の神として祭られ、奈良・平安時代にその存在が記録されています。その後、農耕神・水の神を司る天神社と呼ばれ、祈雨神祭などの雨乞いの神事がたびたび行われていました。一時荒

廃し、1748(寛延元)年に耳成の村人によって今の社殿が建立されました。拜殿に、江戸時代以降に描かれた大絵馬数点と共に、1854(嘉永7)年に奉納された算額が掛かり、4種類の幾何学の問題と解法が記されています。

雨乞い神事重ね 算額も

現在は、近隣6町の氏神として祭られ、各町の自治会で構成される耳成世話人会の皆さんが、日々の参拝や清掃、草刈り等を行って、耳成山と神社を大切に守っておられます。

毎日の登山を楽しんだり、南麓の公園で語らう人々を、山の上から神様が見守って下さっているかのようです。

(奈良まほろばソムリエの会員 大谷巴弥子)